

事務事業評価シート

事業種別	継続	補助	事業類型	ソフト事業	1次評価のみ対象分
------	----	----	------	-------	-----------

コード	名称	区分	コード	名称	
72	景観整備事業	会計	01	一般会計	
29	伊賀市らしい景観を守り、活かす	款	02	総務費	
2	地域の特色を活かした景観の整備	項	01	総務管理費	
		目	06	企画費	
		細目	102	地域振興経費	
		細々目	03	景観整備事業	
基本計画該当頁	120	担当部課	コード	700100	
行革大綱の重点事項番号	1	名称	大山田支所総務振興課	評価者氏名	山本 清
				連絡先	47 - 1150 (内線) 230

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	成果(どうなるのか)
	地域の住民 (対象件数)	住民が主体的に地域の景観整備に取り組み、地域の実情に応じたまちづくりが推進される。
開始年度	平成 4 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等
本年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>大山田景観づくりに関する活動報告(冊子)の作成及び発行</li> <li>シンポジウムの開催 1回</li> <li>いぶし瓦の常夜灯及びサイン灯の維持管理</li> </ul>	状況変化等 平成4年度から始まった「地域づくり景観整備事業」の補助金制度は、平成17年度に廃止になったが、この事業で整備した物的財産や、地域住民が自ら住んでいる地域を見直し、企画から施工まで行人的財産がある。この事業で得た財産を次代へと引き継ぎ、さらなる住民主体の地域づくりの発展を目的に、市民、地域づくりグループ、住民自治協議会の交流の場として、シンポジウムを毎年開催している。補助金制度は廃止になったが、シンポジウムを開催し交流の場を、今後も提供していく必要がある。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	( )
2 配置(予定)人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
シンポジウム開催回数	回	目標 1 実績 1	目標 1 実績 1	1	1
活動報告(冊子)発行部数	部	目標 90 実績 70	目標 90 実績 90	90	90
		目標 実績	目標 実績		
		目標 実績	目標 実績		
		目標 実績	目標 実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
シンポジウム参加者数	シンポジウムの参加者数は、住民主体の地域づくりに取り組む人の数に比例すると考えられる。	人	目標 - 実績 78	目標 60 実績 51	70	80
			目標 実績	目標 実績		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	この事業やシンポジウムの開催を、行政主体から市民主体(住民自治協議会)へシフトする必要がある。しかし、まだ住民自治協議会へうまくシフトできていない、うまくシフトできるまでは行政主体で行う必要がある。
有効性	2	補助金制度が終了し、市民意識の低下が見られた。その意識を取り戻すため、シンポジウムは必要である。
達成度	3	シンポジウムの参加者が少なかったが、事業実績の目標が達成できた。
効率性	4	シンポジウムは、講師謝礼のみで、いぶし瓦の常夜灯及びサイン灯は、維持管理していくうえでの電気料や修繕料で、必要最小限になっており、これ以上コストは削減できない。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
C	変更	行政主体から市民主体(住民自治協議会)へシフトするため、住民自治協議会との意見交換を行う。 シンポジウムの参加者が少なかったことから、伊賀市全域に広報活動を積極的に行い、多数の方々に参加してくれるように改善する。

進捗状況	年度	平成17年度 決算内容			平成18年度 決算内容			平成19年度 計画内容			平成20年度 計画内容		
		事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額
委託	事業内容	委員報酬		(千円) 290	報償費		(千円) 70	報償費		(千円) 70	報償費		(千円) 70
		報償費		100	需用費		459	需用費		635	需用費		635
		旅費		65									
		需用費		444									
		補助金		9,291									
進捗率(%)		事業費計(A)			事業費計(A)			事業費計(A)			事業費計(A)		
		10,190	529		705		705						
事業投入人員		人件費(B)	0.3 人	2,160	人件費(B)	0.3 人	2,160	人件費(B)	0.3 人	2,160	人件費(B)	0.3 人	2,160
フルコスト(A)+(B)		12,350			2,689			2,865			2,865		

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	10,190	529	705	705
Aの財源内訳				
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
受益者負担				
その他				
一般財源	10,190	529	705	705
計	10,190	529	705	705
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等			